

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-15	中学校	社会	社会(公民的分野)	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	公民002-92	新編 新しい社会 公民		

1 編修の基本方針

今と向き合い、
 持続可能な社会の実現に向けて
 「これからの社会を生き抜く力」を育む。



基本方針 1

学習の流れを可視化し、
 課題を解決する力を育てる

- 1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン
- 「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化



基本方針 2

自らの考えを整理し、
 表現する方法を身に付ける

- 評価の観点に対応した学習のまとめ
- 対話を促し、深い学びを実現する
- 現代的な諸課題を自分ごととしてとらえる



基本方針 3

世界が広がるQRコンテンツで
 学びをアップデートする

- 学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ





1時間の「学習の流れ」を分かりやすくデザイン

学習課題、本文、資料、チェック&トライ等、紙面の要素を定位置に配置しました。
学習の流れが見えることで、全ての生徒にとって学習に取り組みやすい紙面にしました。

学習の流れ

- ① **導入資料**
本時の導入に使える魅力的な資料
- ② **学習課題**
生徒の「なぜ」を引き出す学習課題
- ③ **本文**
読んで理解できる本文
- ④ **チェック&トライ**
1時間の学習を繰り返す二つの問い

サブタイトル
関心を高め、学習課題につなげる

二次元コード
学習課題の横に配置
→詳しくは p.4 参照

活動コーナー
身に付けた技能を活用する活動

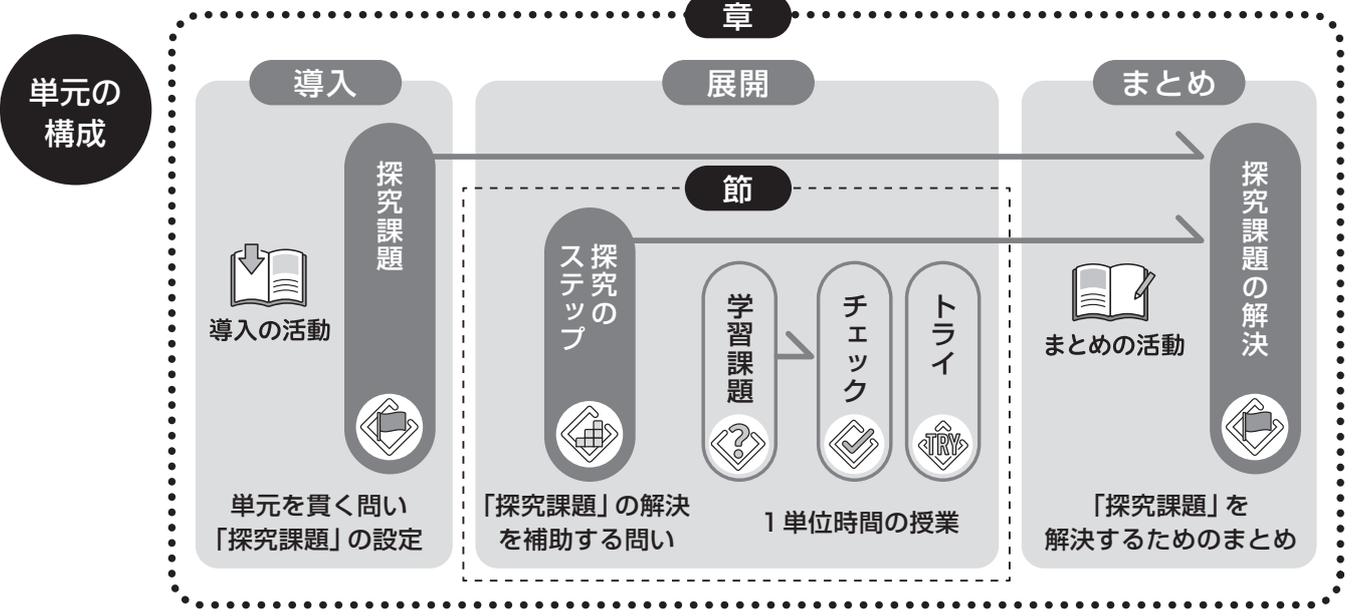
インデックス
学習内容をいつでも確認

見方・考え方の視点例
思考・判断を深める学習の手がかり

▶40-41ページ

「単元の構成」で課題解決的な学習のプロセスを可視化

「探究課題」「探究のステップ」「学習課題」の3段階の問いが課題解決的な学習を促します。
章全体を貫く「探究課題」を解決するために、節の問い「探究のステップ」を設けることで、無理なく課題解決的な学習に取り組むことができます。





評価の観点に対応した学習のまとめ

単元末のまとめを「知識・技能（知識）」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点で整理しました。

▼70-71 ページ

The image shows a preview of textbook pages 70 and 71. Page 70 is titled '第2章の学習をまとめよう' (Summarize the learning in Chapter 2) and includes a '確認めよう' (Check) section with a word check and a flowchart. Page 71 is titled 'ふり返ろう' (Reflect) and includes a '深めよう' (Deepen) section with a 'みんなチャレンジ' (Everyone's Challenge) activity. The flowchart on page 70 maps various concepts like '法の権力を制限する' (Limiting the power of law) to '基本的人権' (Basic human rights) and '個人の権利' (Individual rights).

確認めよう **知識**
 学習した言葉の確認と、
 まとめを通して「知識」の確認を
 コンパクトに行えます。

ふり返ろう **主体的に学習に取り組む態度**
 課題の解決を通して「主体的に
 学習に取り組む態度」を見取る
 ことができます。

深めよう **思考・判断・表現**
 思考ツール等を用い、学習をまと
 める活動を通して「思考・判断・
 表現」を見取ることができます。

▲72-73 ページ

対話を促し、深い学びを実現する

対話を通して深い学びを実現するための活動例を、本文やまとめのページに配置しました。

小集団での参加型学習「みんなでチャレンジ」を活用することで、本文での学習内容の理解を確実にし、話し合いなどの対話的な活動を促すことができます。多様な意見に触れながら学習を深め、自分の考えを調整したり、まとめたりすることで、多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

The image shows a preview of textbook page 124, titled 'みんなでチャレンジ' (Everyone's Challenge). It lists four activity steps: (1) Individual activity: Record ideas in a 'dreams' chart. (2) Individual activity: Discuss a topic and record it. (3) Group activity: Discuss and record solutions. (4) Individual activity: Present solutions and discuss efficiency and justice. A 'ヒント' (Hint) box provides a sample case about public group laws. A cartoon character says 'イベントが多いまちがいなあ。' (There are many events in this town, isn't it?).

▼124 ページ

現代的な諸課題を自分ごととしてとらえる

現代的な諸課題を五つのテーマでとらえ、持続可能な社会の形成を常に意識できるようにしました。

持続可能な社会の形成を常に意識できるように、現代的な諸課題を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点でとらえ、3年間の社会科学習を貫くテーマとしました。様々な課題や克服のための取り組みを扱い、課題解決のための意識と態度を育てます。

The image shows a preview of textbook page 124, titled '自分ごととしてとらえる' (Take it as your own thing). It features a central circular diagram with five themes: '環境・エネルギー' (Environment/Energy), '人権・平和' (Human Rights/Peace), '伝統・文化' (Tradition/Culture), '防災・安全' (Disaster Prevention/Safety), and '情報・技術' (Information/Technology). The text explains that these themes are used to address modern issues and form a sustainable society. It includes several photographs of students and community members engaged in various activities related to these themes.

▲巻頭 1-巻頭 2 ページ



単元の
学習の
流れ

学校でも、家庭でも、学びを支えるQRコンテンツ

小学校の学びを活かし、中学校の学びをスタート

導入



単元の学習をイメージしやすいコンテンツ

【導入クリップ】

各単元導入では、小学校の学習内容をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。

👉 活用場面

授業冒頭のレディネスチェックとして、予習のための課題として、活用することができます。

◀ 37 ページ

多様なQRコンテンツが毎日の学習をサポート

展開

知識の確認

チェック
法にはどのようなものがあるか、目を参考に上位のものから順に書き出しましょう。

トライ
法の支配が重要な理由を、人の支配と比較して説明しましょう。

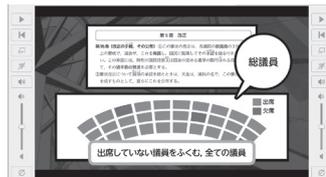
【チェック&トライ】

毎時間の学習内容をもとに取り組みコンテンツ

👉 活用場面

1時間の授業のまとめとして、学習内容のふり返しとして活用できます。

豊富な映像資料



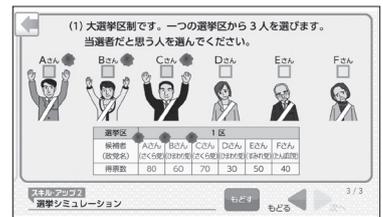
【なるほど！スキル・アップ】 【D-MOVE】

スキルアップの解説動画やNHK for School 動画、インタビュー映像など

👉 活用場面

公民学習に必要なスキルや学習内容の確認、関連する内容の理解に活用できます。

活動ツール



【シミュレーション】

端末での操作を通して理解を促すコンテンツ

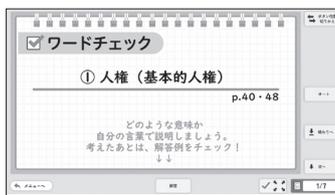
👉 活用場面

授業での確認や、家庭学習でのふり返しに活用できます。

学習を整理し、学びを深めるヒント

まとめ

学習のふり返し



確かめよう (知識)

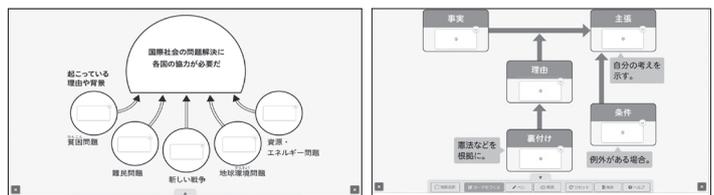
【クイズ】

単元で学んだ知識を一問一答で確認するクイズ

👉 活用場面

学習のまとめに向かう前の知識の整理として、定期テスト前の復習として活用できます。

思考の整理



ふり返ろう (主体的に学習に取り組む態度)

深めよう (思考・判断・表現)

【思考ツール】

くらげチャートやツールミン図式などの思考ツール

👉 活用場面

学習のまとめのツールとして、自分の思考を整理するためのヒントとして活用できます。

2 対照表 教育基本法第2条の各号に定められた教育の目標を実現するために、教科書全体を通して、以下のような配慮をしています。

図書の構成	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭・巻末	●教科書全体を貫く五つのテーマ「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」などに関する題材と、それらの解決に取り組む人々の姿を取り上げることで、急速に変化する現代社会の中で、伝統と文化を尊重し、人権の尊重や環境の保全、国際社会の平和と発展を目指すことの重要性を意識しながら、主体的に社会に参画する態度を養えます(第3号・第4号・第5号)。	巻頭1・巻頭2、 巻末2ページ
第1章 現代社会と私たち	●持続可能な社会の形成について取り上げることで、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」などに関する課題の解決の必要性や、一人一人の社会参画の重要性を意識できます(第3号・第4号・第5号)。 ●メディアリテラシーや情報モラルなどの技能を、他教科(技術)と関連させながら、具体的な事例を通して身に付けられます(第1号、第2号)。 ●現代社会における多様性や文化の意義について理解することで、他者と異なる文化を理解し尊重し合う態度の重要性を理解できます(第2号・第5号)。 ●他教科(道徳)と関連させながら、我が国の伝統や文化に関する教材や、伝統文化の継承に取り組む中学生の姿を取り上げることで、我が国や郷土に対する誇りと愛情、伝統文化の継承者としての自覚と態度を養えます(第3号・第5号)。	8-9ページ 13ページ 18-23ページ 8、20-21ページ
第2章 個人の尊重と 日本国憲法	●憲法の意義と日本国憲法の構成を大きくとらえさせることで、主権者である国民が、互いの権利を尊重し、義務を果たしながら、平和で民主的な国家・社会の形成に参画していることを理解できます(第1号・第3号)。 ●日本国憲法の保障する基本的人権について丁寧に説明し、インクルージョンの観点を踏まえながら、男女の平等や高齢者、障がい者、外国人との共生について考えさせることで、自他を敬愛し、人権を尊重する態度を養えます(第2号・第3号)。 ●産業の発展に伴い環境権が主張されるようになったことについて、具体的な事例を通じて理解できます(第4号)。	40-45、62-63ページ など 48-59ページなど 64ページ
第3章 現代の民主政治と 社会	●選挙権年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、民主主義の意義や選挙、裁判員制度の仕組み、メディアリテラシーなど、将来、主権者として政治に関わるための知識や能力を、多様な活動を通じて確実に身に付けられます(第1号・第2号・第3号)。 ●身近な地域の課題の解決について調べる活動や、東日本大震災からの復興への取り組みについて、他教科(理科・保健体育・道徳)の学習と関連させながら多面的・多角的に考えることなどを通じて、郷土に対する理解を深め、地域づくりに積極的に参画する態度を養えます(第3号・第5号)。	78-91、106-109、 124-125ページなど 118-121、126-127 ページなど
第4章 私たちの 暮らしと経済	●成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応し、他教科(家庭)と関連させながら、消費者問題や消費者の権利について、具体的な事例、活動等を通じて、必要な知識や能力を身に付けられます(第1号・第3号)。 ●労働や雇用について、具体的な事例を掲載することで、職業や労働への理解を深め、自らの在り方・生き方について考えられます(第2号)。 ●市場経済や為替相場などの抽象的な事項については、「スキル・アップ」の作業を通じて確実に理解できます(第1号)。 ●公害問題について、防止の取り組みや、環境保全の国や地方公共団体の取り組みを取り上げることで、個人・企業などがなすべきことについて考えられます(第4号)。	132-139ページ 148-151ページ 152-155、162-163ページ 172-173、180ページなど
第5章 地球社会と私たち	●導入の活動で、これまでの学習と結び付けながら「持続可能な開発目標(SDGs)」について理解した上で、地球環境・エネルギーの問題や、解決のための国際協力、我が国の政策の在り方について、他教科(理科)や他分野(地理・歴史)と関連させながら多面的・多角的に考えられます(第1号・第2号・第4号)。 ●貧困や紛争、難民、我が国の領土をめぐる問題など、国際平和のために解決すべき課題について詳しく説明することで、平和な国際社会に向けて、我が国や一人一人が果たすべき役割について考えられます(第3号・第5号)。 ●国際社会における文化の多様性と宗教間の対立について具体的な事例を取り上げることで、異なる文化を理解し尊重する態度を養えます(第5号)。	182-183、198-203 ページ 186-187、194-197、 204-207ページなど 208-209ページ
終章 より良い社会を 目指して	●調べ学習の過程やポイントを丁寧に説明することで、探究的な学習を、主体的に進められます(第1号・第2号)。 ●身近な地域を調べる過程で、グループでの話し合いや発表の場面などを充実させることで、他者を尊重し、協力する態度を育てられます(第2号)。 ●「探究を続ける」から、探究の成果を社会参画や自己の将来の在り方・生き方へと結び付けて考えられます(第2号・第3号)。 ●社会科学学習の成果を生かし、持続可能な社会の実現に向けて、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」などの多様な側面から追究し、一人一人ができることについて考えられます(第3号・第4号・第5号)。	218-221ページ 220-221ページ 222-223ページ 217-223、 巻末2ページ

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた特色

全ての生徒が使いやすい紙面への配慮

特別支援教育への配慮やユニバーサルデザインの取り組み

紙面の読み取りやすさの向上

- 資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させました。
- ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用することで、文字の視認性を向上させました。

色覚特性への配慮

- グラフや地図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用しました。また、文字に縁取りをしたり、凡例を使用しないで図中に直接示すようにしたり、グラフでは読み取りづらい破線や点線を減らしたりしました。

学校教育を取り巻く諸課題への取り組み

より良い指導や学びをサポートする

指導しやすさ・学びやすさの確保

- 様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏写りせず、強度の高い紙を使用しました。
- 必要な学習内容をしっかりと確保しながら、単元や1単位時間の紙面の構造を明確化することで、先生方の教材研究や授業準備の時間を短縮できます。

環境に優しい素材を使用

- 再生紙・植物油インキを使用しています。
- 用紙には、強度と発色性を兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-15	中学校	社会	社会(公民的分野)	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
2 東書	公民002-92	新編 新しい社会 公民		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領への対応

1 主権者意識を高め、主体的に社会に参画する態度を養う

18歳でできること

- Q1 結婚することができるのは何歳からでしょうか。18歳 or 20歳
- Q2 タバコを吸ったり、お酒を飲んだりしてもよいのは何歳からでしょうか。18歳 or 20歳
- Q3 公認会計士や司法書士、医師、薬剤師などの資格取得が可能なのは何歳からでしょうか。18歳 or 20歳
- Q4 選挙でお金をかけることができるのは何歳からでしょうか。18歳 or 20歳

20歳でできること

- Q1 結婚できる年齢は、既成とも16歳とされています。従来も20歳未満での婚姻は可能でしたが、未成年者の婚姻には父長の同意が必要でした。成年年齢が18歳となり、この父長の同意要件は廃止されました。
- Q2 20歳未満の飲酒や喫煙を禁じる法律の規定は、改正されいなくなりました。これは、飲酒・喫煙の危害・リスクを年齢を考慮してのことです。18歳に達したららって、飲酒・喫煙を控えてはいけません。
- Q3 東京都では20歳未満の中学生と未成年者との出会いの法律で定められています。成年年齢の引き下げにもない、今では18歳になればこれに間に合います。18歳で学問の分野に参画することも楽しいでしょう。
- Q4 選挙などおこなわれたけどお金をかけられるのは20歳になってからという法律の定めは、改正されなくなりました。つまりなくなって大差なくなりましたが、票の計算に巻き込まれる危険から年齢を守るためです。
- Q5 裁判員は、18歳以上の国民から抽選で選ばれます。法廷で決まる判決が国民以外には、理解することができません。大人になると、人を救く責任を負う可能性があるからです。公民の役割が重要なんです。

「18歳へのステップ」

選挙権年齢と成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れや契約における注意点を理解できる「18歳へのステップ」をさらに充実させました。実物資料や身近で具体的な設定のクイズを豊富に紹介しながら、ビジュアルな紙面で効果的に主権者意識を高められます。QRコンテンツでは、関連する動画やクイズを用意しています。

◀60-61 ページ

「学習のイメージをふくらませる巻頭」

巻頭では、地理・歴史の学習をふり返り、学んだことを活かしながら、公民学習に取り組めるページを設けました。社会的な事象を自分ごととしてとらえる公民的資質を育み、主体的に学習に取り組む意識を高めます。

小学校の社会の学習 → 公民学習の初めに → 中学校の公民の学習 → 高校の公民の学習

地理的分野の学習 → 公民学習の初めに → 歴史的分野の学習

1 現代社会と私たち (現代社会の発展と課題) | 2 個人の尊厳と日本国憲法 (憲法の意義と権利) | 3 現代の民主政治と社会 (選挙と政治参加) | 4 私たちの暮らしと経済 (生活と経済活動) | 5 地球社会と私たち (国際社会と環境)

▲巻頭 3-1 ページ

高校の学習への橋渡し

教科書の後見返しには、高等学校の必修科目「公共」で学習する内容を紹介し、中学校の学習内容が高等学校の学習につながるよう配慮しました。

「公民」の学習をこれからの学習に生かす

戦争放棄 → 学びを社会に生かす (見方・考え方の現代社会の基となる知識や概念を学ぶ) → 中学「公民」 → 高校「公共」

憲法 人権 政治 経済 国際社会

さまざまな事象 諸課題

▲巻末 2 ページ

2 公民学習に必要な知識・技能を確実に身に付ける

資料収集や地図・グラフの読み取りの技能について、地理・歴史で身に付けた技能を基礎にしながら、様々な習得・活用場面を通して身に付けられます。

スキル・アップ

具体的な資料を使い、メディアリテラシーや「需要量や供給量と価格の関係」のグラフの読み取りなどの、公民学習に必要な技能を確実に定着できます。

▶45 ページ

スキル・アップ 1

法律用語の読み方

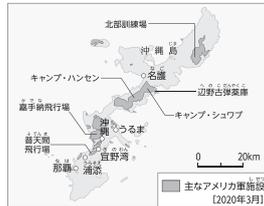
法律で使われている用語の意味を理解しましょう。

- 総議員…出席していない議員をふくむ、全ての議員
- 以上(以下)…その数をふくめ、それより大きな(小さな)数
- 未満…その数をふくめず、それより小さな数
- 過半数…半分をこえる数
例：9 [10] 人の過半数
→5 [6] 人以上の数

活動コーナー

技能を活用する活動コーナーでは、「見方・考え方」を働かせながら、課題解決のための情報収集や読み取り、まとめの技能を身につけることができます。

▶47 ページ



- (1) 地図帳で沖縄の「位置」を確認しましょう。
- (2) p.205の③を見て東アジア諸国の軍事力を比較しましょう。
- (3) (1)・(2)を基に、アメリカ軍が沖縄に残っている理由を考えましょう。

もっと知りたい!

本文の学習内容を、もっと深めたり、もっと広げたり、もっと多様な視点でとらえたりすることで、より確かな知識を得ることができます。

▼19 ページ

もっと解説

本文中の理解したい用語について、詳しく解説しています。本文と合わせて確認することで、学習内容のより深い理解につながります。

▼27 ページ

もっと解説 Win-Win

Win-Winとは、利害の対立する両者が話し合いや交渉により、たがいに満足する利益を得ることを指します。両者が「勝つ(Win)」という意味です。例えば、文化祭の出し物で、劇と映像作品の上映に意見が分かれた場合、話し合いで「劇中で映像作品を流す」ことに決めるなどがあります。

もっと知りたい!

人権 平和

ノーベル賞が生まれた背景

ダイナマイトを発明したスウェーデンのアルフレッド・ノーベル(1833~96)は、ダイナマイトが戦争にも使用されたことに衝撃を受けました。そこで、ダイナマイトで得た利益によって築いた自分の財産を元に基金を作り、科学の発展や優れた文学作品の執筆、平和の実現などに功績のあった人に賞をおくるといいう遺言を残しました。これに基づいて、1901年からノーベル賞が授与されるようになりました。

⑦ノーベル生理学・医学賞を受賞した本麻祐さん(スウェーデン ストックホルム 2018年)



3 現代的な諸課題を解決するための意識と態度を育てる

- 社会科の3年間の学習を貫く、「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで、様々な課題や克服のための取り組みを扱い、現代的な諸課題の解決のための意識と態度を育てられます。
- 日本の領域について学習する单元では、我が国が抱える領土をめぐる問題やその背景を取り上げ、問題を正しく理解し、国際平和のために解決すべき課題であることを意識できます。
- 学習指導要領で「国際連合における持続可能な開発のための取組」を扱うとされた第5章「地球社会と私たち」では、導入で、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」を理解させる活動を取り上げ、国際社会が抱える諸課題の理解を促せます。

五つのテーマ	主な内容	該当箇所
環境・エネルギー	本文や「もっと知りたい!」で、地球規模の環境問題や日本のエネルギー政策の現状を取り上げ、持続可能な社会の実現に必要な取り組みを構想させ、環境やエネルギーの問題への意識を高められます。	198-203 ページなど
人権・平和	本文や「もっと知りたい!」で、平等権や先住民族の権利を取り上げ、アイヌ民族の権利の保障や新しい取り組みを理解させ、人権や平和への意識を高められます。	50-53、74-76 ページなど
伝統・文化	本文や「もっと知りたい!」やコラムで、日本全国の雑煮や、ユネスコ無形文化遺産、「空き家バンク」などを取り上げ、歴史的背景や現状、今後の動きを理解することで、我が国や郷土に対する理解や愛情を深められます。	20-21、36、128 ページ
防災・安全	「もっと知りたい!」で、東日本大震災の具体的な事例を提示しながら、行政の様々な取り組みや人々の協力を取り上げ、防災や安全の意識や態度を養えます。	126-127 ページなど
情報・技術	情報通信技術の進展による社会の変化について、農業や流通などの具体的な事例を通して理解させ、社会の変化に対応するための基礎的な素養を養えます。	12-15 ページ

検討の観点		内容の特色	該当箇所
内容の程度・分量	指導計画作成上の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●本文は見開き2ページで1単位時間を原則にしています。 ●目次・索引、巻末資料などを除いたページ数は223ページで、標準授業時数100単位時間のうち、4単位時間の予備時間を設け、柔軟な指導計画の作成が可能です。 	全体
	適正な内容・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●授業時数は、公民学習の導入に1単位時間、1章に13単位時間、2章に17単位時間、3章に23単位時間、4章に24単位時間、5章に14単位時間、終章に4単位時間を配当しており、適切な配当といえます(本紙5ページの「対照表」参照)。 	全体
公民的分野の目標と内容	基礎的・基本的な知識・概念や技能を習得する。	<ul style="list-style-type: none"> ●見開き1単位時間の紙面を、「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック&トライ』」の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるようにしました。 ●公民学習の基礎的な知識・技能を系統的に習得させる「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。 ●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用する活動コーナーを設け、資料を活用する力を高められるようにしました。 ●本文等の抽象的な用語を解説する「もっと解説」を随所に配置し、基礎・基本を確実に理解できるようにしました。また、QRコンテンツでは、社会科で学習する用語が確認できる「社会科用語マスター」を用意しています。 	全体 45、83、87、103、135、163ページなど 18、23、41、84、96、119、193ページなど 12、27、46、58、67、89、107、145、157、160ページなど
	「現代社会の見方・考え方」を働かせるなどして、思考力・判断力・表現力を育む。	<ul style="list-style-type: none"> ●第1章や各単元の学習の冒頭で「見方・考え方」を明示してとらえさせるとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるマーク◎を設け、学習を深められるようにしました。 ●各見開きには、短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック&トライ」を設け、思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。 ●各章の終結部には「座標軸」「ステップチャート」といった、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるようにしました。 ●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け、対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。 	29、41、54、75、124ページなど 8-9ページなど 34-35、72-73、124-125ページ 9、53、81、124、133、171、209ページなど
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ●第1章1節に「持続可能な社会に向けて」を設けたり、中学生が社会参画している事例を取り上げたりすることで、持続可能な社会の形成に必要な一人一人の社会参画について、具体的な事例を通して理解できるようにしました。 ●「インタビューコラム」を随所に設け、実際に社会に参画している人々の姿から、自らの生き方やキャリア形成について考えられるようにしました。 ●公民学習の最後には、持続可能な社会について構想し、自分にできることをアクションプランにまとめるページを設けました。 	8-9、118、120-121、175ページなど 50、69、76、106、118、145、169、197ページ 216-223ページ
構成・配列	小・中・高の系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●各単元の導入部に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真でふり返るページを設けるとともに、QRコンテンツから既習事項をふり返るなど、単元の学習をイメージしやすいコンテンツを用意し、小・中の学習を円滑に接続できるようにしました。 ●巻末に、高等学校の必修科目「公共」について紹介するページを設け、中・高の橋渡しに配慮しました。 	37、77、129、181ページ 巻末2ページ
	三分野の関連	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間の社会科学習を貫く五つのテーマ(「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」)について、三分野共通の題材や、分野をまたがる共通の資料を扱い、分野関連を示すリンクマーク㊦を付すことで、多面的・多角的な学習ができます。 	14-15、36、74-75、126-127ページなど
	他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●他教科でも扱う学習内容には、教科関連を示すリンクマーク㊦を付し、教科を横断した学習の確認ができます。 	12、126、138、172ページなど
	QRコンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> ●導入→展開→まとめという学習の流れの中で活用できるよう、日々の授業や家庭学習で使えるコンテンツを用意しました。 ●章扉の導入ページでは、小学校の学習をふり返るクリップなど、章の学習をイメージしやすいコンテンツを用意しました。 ●展開ページでは、学習内容の理解を深める動画や、活動のためのワークシート、生徒のつまずきを補うシミュレーションなどのコンテンツを用意しています。また、コンテンツを活用しながら学習を進められるよう、二次元コードを学習課題の隣に置きました。 ●まとめのページでは、思考の整理に役立つ思考ツールや学習した内容を確認する一問一答のクイズ、まとめの活動のワークシートなどを用意しました。 	全体 6、37、77、129、181、216ページなど 8、10、12、16、18、20、22、24、26、28ページなど 32-34、70-72、122-124ページなど

検討の観点	内容の特色	該当箇所
持続可能な開発目標 (SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き、現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。 ●持続可能な社会の形成について、第1章1節と終章で取り上げ、第5章やQRコンテンツの参考法令集で「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げることで、現代的な諸課題を理解し、課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。 	巻頭1-巻頭2ページ 巻頭1-巻頭2、8-9、 182、191、195、206、 216-223ページ
主権者教育	<ul style="list-style-type: none"> ●選挙権・国民投票権の満18歳以上への引き下げに対応して、実際の選挙の流れを概観するページを設け、また、憲法改正や選挙に関する記述を拡充することで、選挙制度や選挙の意義について具体的に理解できるようにしました。 ●成年年齢の満18歳以上への引き下げに対応して、身近な場面設定を用いて契約の注意点を学習できるページを設け、広告の読み取りや悪質商法への対処などの具体的な活動や事例を通じて、「自立した消費者」として必要な資質や能力を身に付けられるようにしました。 	44-45、58、78-79、 82-85、88-91、97、 124-125ページなど 132-139ページ
環境・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ●公害問題や地球環境問題、日本のエネルギー政策などについて多様な教材を掲載し、話し合いなどの活動を通して、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。 	8、64、172-173、180、 198-203ページなど
人権・平和	<ul style="list-style-type: none"> ●第2章の導入「ちがいのちがいで」で身近な事例から人権について考えさせるとともに、インクルージョンについて考える活動を設けたり、「もっと知りたい！」で先住民族の権利を取り上げてアイヌ民族の権利の保障や新しい取り組みを理解させたり、共生社会を目指す具体的な事例を掲載したりすることで、人権意識を高められるようにしました。 	38-39、74-76ページ など
伝統・文化	<ul style="list-style-type: none"> ●第1章で文化について扱い、年中行事や伝統文化などについて取り上げることで、伝統・文化への理解を促せるようにしました。 	18-23、36ページなど
防災・安全	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災からの復興や防災対策、防犯などの課題について、具体的な事例を通して、社会参画や地方自治、自助・共助・公助、減災、人権などの多様な観点から考えられるようにしました。 	8-9、67、126-127、 232ページなど
情報・技術	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞記事を豊富に掲載し、新聞を使った活動を取り上げるなど、情報モラルやメディアリテラシーについて、具体的な活動を通して養えるようにしました。 ●生徒がより自分ごととしてとらえられるよう、スキル・アップ「SNSでメディアリテラシーを身に付けよう」を新設しました。 	13、67、86-87、 98、110ページなど 87ページ
先生がたの働き方改革への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ●1見開きあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成にしています。 ●単元における「導入の活動」と「まとめの活動」に一体感をもたせ、単元構想が立てやすくなるようにしました。 ●紙面上で、活動に「見方・考え方」を働かせる視点の例を分かりやすく提示しました。 	全体 38-39、 72-73ページなど 9、13ページなど
インクルーシブ教育を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の観点から、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」を採用し、学習者が学習に必要な情報に集中できます。 ●資料の掲載部分を、文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別することで、紙面の構造を明確化し、特別支援教育の観点での学習のしやすさを向上させています。 ●教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント (UDフォント) を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすさを向上させています。 ●色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフや地図などでは、凡例を使用せずに図中に直接示すようにしたり、読み取りづらい破線や点線を極力減らしたりしました。 ●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し、読み取りやすいゴシック体のふりがなを採用し、視認性を確保しながら黒色を抑えることで、紙面の雑然とした印象を軽減し、読み取りやすさを向上させています。 ●別途発行予定の学習者用デジタル教科書では、文字の大きさ変更 (リフロー表示)、本文の読み上げ (機械音声)、文字色・背景色・行間の変更や、ふりがな表示、分かち書き表示に対応し、全ての子どもの学習を支えます。 	全体
令和の日本型学校教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面に付した二次元コードを機器で読み取ることで、内容の理解につながる動画やシミュレーションなど、豊富なコンテンツを利用することができるため、学校でも家庭でも学習者個人に合わせた学習を調整することができます。 ●学習者用デジタル教科書では、画面に表示される紙面上の二次元コードをクリックするだけの操作で、簡単にQRコンテンツにアクセスすることができます。 	全体

今日的な課題への対応

観点別特色一覧

検討の観点		内容の特色	該当箇所
印刷・造本	表記・表現	●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い、資料を豊富に掲載するとともに、写真や文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成になっています。	全体
	製本・印刷	●印刷用のインキは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●強力な接着剤を用いた製本は堅牢で、長期間の使用にも十分耐えられます。	全体
	用紙・紙質	●様々な教科の教科書を持ち歩く生徒の負担に配慮して、過度な重量にならないように、ページ数を抑え、軽くて裏書きせず、強度の高い紙を使用しました。 ●用紙には、強度と発色性とを兼ね備えた質の高い再生紙を使用して環境に配慮するとともに、文字や図表、写真などの資料が読みやすく、色映えるように工夫しています。	全体

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時間
持続可能な社会の実現に向けて／公民学習の初めに	A-(1)	巻頭-1ページ	1
第1章 現代社会と私たち	A-(1)(2)	6-36ページ	13
導入	A-(1)	6-7ページ	1
1節 現代社会の特色と私たち	A-(1)	8-17ページ	4
2節 私たちの生活と文化	A-(1)	18-23ページ	3
3節 現代社会の見方や考え方	A-(2)	24-31ページ	4
まとめ	A-(2)	32-35ページ	1
第2章 個人の尊重と日本国憲法	C-(1)	37-76ページ	17
導入	C-(1)	37-39ページ	1
1節 人権と日本国憲法	C-(1)	40-49ページ	5
2節 人権と共生社会	C-(1)	50-63ページ	7
3節 これからの人権保障	C-(1)	64-69ページ	3
まとめ	C-(1)	70-73ページ	1
第3章 現代の民主政治と社会	C-(2)	77-128ページ	23
導入	C-(2)	77-79ページ	1
1節 現代の民主政治	C-(2)	80-91ページ	6
2節 国の政治の仕組み	C-(2)	92-111ページ	10
3節 地方自治と私たち	C-(2)	112-121ページ	5
まとめ	C-(2)	122-125ページ	1
第4章 私たちの暮らしと経済	B-(1)(2)	129-180ページ	24
導入	B-(1)(2)	129-131ページ	1
1節 消費生活と経済	B-(1)(2)	132-141ページ	5
2節 生産と労働	B-(1)(2)	142-151ページ	5
3節 市場経済の仕組みと金融	B-(1)	152-163ページ	6
4節 財政と国民の福祉	B-(2)	164-171ページ	4
5節 これからの経済と社会	B-(2)	172-175ページ	2
まとめ	B-(1)(2)	176-179ページ	1
第5章 地球社会と私たち	D-(1)	181-215ページ	14
導入	D-(1)	181-183ページ	1
1節 国際社会の仕組み	D-(1)	184-193ページ	5
2節 さまざまな国際問題	D-(1)	194-205ページ	5
3節 これからの地球社会と日本	D-(1)	206-209ページ	2
まとめ	D-(1)	210-213ページ	1
終章 より良い社会を目指して	D-(2)	216-223ページ	4
		予備時間	4
		合計	100

※予備時間は、生徒の自主的な学習活動の時間や評価などに充てる時間です。